

株式会社サンプル企業

事業計画書

ものづくり補助金 第23次公募／製品・サービス高付加価値化枠

作成	AI活用推進担当
日付	2026-04-24
版	1.0
機密区分	社外秘

目次

1. 結論
2. この文書について
 - 2.1 目的
 - 2.2 読み手
 - 2.3 範囲
 - 2.4 範囲に含まないもの
 - 2.5 前提と制約
 - 2.6 改訂履歴
 - 2.7 用語
3. 審査項目に、どの章で答えているか
4. 対象者・対象事業の要件を満たしている
5. 断っている 27 件が、いまいちばん大きい機会
 - 5.1 外部環境
 - 5.2 内部環境
 - 5.3 この投資が事業戦略のどこに入るか
6. 課題と、それをどう解くか
 - 6.1 数値目標
7. 市場と競合
8. やり切れる根拠
 - 8.1 技術力
 - 8.2 体制
 - 8.3 資金
9. 費用対効果
10. 地域への波及
11. 大幅な賃上げの特例は申請しない
12. 日程

13. 支援者の申告
14. 論点と未決
15. 次にやること

1. 結論

図表 1 要点

測ったこと	結果
投資額	27,200 千円
回収にかかる年数	4 年目
付加価値額の年平均の伸び	3.2%
5 年後の売上高	62,400 千円

資料: 本文の各節から

2. この文書について

2.1 目的

大口径精密研磨の自動化設備を導入し、 $\phi 300\text{mm}$ 超の加工に対応する。本書は、公募要領 4.1.2 の審査項目に一つずつ答える形で構成している。

2.2 読み手

- ・ 審査員
- ・ 認定支援機関
- ・ サンプル信用金庫
- ・ 代表・製造部長

2.3 範囲

- ・ 審査項目 1～5 への回答
- ・ 収支計画と費用対効果
- ・ 実施体制と日程
- ・ 支援者の申告

2.4 範囲に含まないもの

ここを書かないと、読み手は「書いていないこと=やること」と読みます。

- ・ 審査項目 6（大幅な賃上げ特例） — 申請しない。給与の年平均が +2.5% で要件の +6% に届かず、最低賃金も +43 円で +50 円に届かないため。届かない要件を申請して未達になると返還が発生する

2.5 前提と制約

前提が崩れたら、この文書の結論も崩れます。崩れたら作り直します。

#	前提	崩れたらどうなるか
1	採択された場合、補助率 50%・補助上限 12,500 千円	自己負担が増え、資金計画を組み直す必要がある
2	設備の納期が発注から 6 か月	補助事業期間内に検収が終わらないと補助対象外になる

2.6 改訂履歴

版	日付	作成	承認	変更の要旨
1.0	2026-04-24	AI 活用推進担当	—	電子申請の入力用に確定

2.7 用語

語	この文書での意味
本事業	大口径精密研磨の自動化設備を導入し、φ300mm 超の加工に対応する
付加価値額	営業利益 + 人件費 + 減価償却費

結論

状況 精密機械部品の受託加工。従業員 38 名。神奈川県横浜市金沢区。

問題 φ280mm を超える依頼を、直近 12 か月で 27 件断っている。現有の設備は最大 φ280mm までで対応できない。断った 27 件の見積総額は 48,600 千円だった。

問い 設備を入れて、この領域を取りに行くか。

答え 平面研磨機を導入する。投資額 27,200 千円（うち補助金 12,500 千円）。3 年目に大口径の売上を 62,400 千円まで伸ばし、付加価値額を年平均 +3.2% 増やす。自己負担 14,700 千円は 3 年目で回収する。

	現在	3 年目
対応できる外径	φ 280mm	φ 450mm
大口径の売上	—	62,400 千円
付加価値額	196,840 千円	216,300 千円

資料: 本文の各節から

3. 審査項目に、どの章で答えているか

落ちる計画の大半は、審査項目に答えていない。

図表 2 審査項目との対応

審査項目（公募要領 4.1.2）	答えている章
1 補助事業の適格性	4
2 経営力	5
3 事業性	6・7
4 実現可能性	8・9
5 政策面	10
6 大幅な賃上げの妥当性	申請しない

資料: ものづくり補助金 第 23 次公募要領（2026-02-06）

4. 対象者・対象事業の要件を満たしている

図表 3 要件の判定（数字は本計画から自動で計算）

要件	基準	当社	判定
中小企業者であること	—	資本金 90,000 千円・従業員 38 名	✓
付加価値額 年平均	+3% 以上	+3.2%	✓
給与支給総額 年平均	+2% 以上	+2.5%	✓
事業場内最低賃金	地域別 +30 円以上	1,268 円（地域別 1,225 円・差 +43 円）	✓
補助対象経費	単価 50 万円以上の設備投資	平面研磨機 24,800 千円	✓

資料: 第 23 次公募要領の要件と当社の実績

5. 断っている 27 件が、いまいちばん大きい機会

審査項目 2（経営力）に答える章。

直近 12 か月で、φ280mm を超える依頼を **27 件**断った。見積総額は **48,600 千円**である。

5.1 外部環境

- ・半導体製造装置向けの部品需要が回復している。神奈川県内の同業 3 社のうち、**φ300mm 超に対応できるのは 1 社のみ**
- ・客先 A 社・C 社から、**大口径への対応を打診されている**（2026-01、2026-03）
- ・原材料と電力が上がり続けており、**加工賃の単価だけでは利益率が戻らない**（経営改善計画 1 章）

5.2 内部環境

図表 4 自社の強みと弱み

	内容	根拠
強み	大口径（φ200～280mm）の研磨で、面粗さ Ra0.02μm を安定して出せる	客先 4 社の受入検査で 2 年間不良ゼロ
強み	客先の内示段階から相談を受けている	A 社・C 社との取引実績
弱み	その技能が 1 名（勤続 31 年・58 歳）に依存している	技能マップ（組織と KPI の設計）
弱み	φ280mm を超える設備が無く、受注を断っている	直近 12 か月で 27 件・48,600 千円
弱み	受注と進捗が Excel と紙。納期回答の 22.6% が翌日以降	当社実測（2026-09）

資料: 当社実測および技能マップ

5.3 この投資が事業戦略のどこに入るか

経営改善計画（3 か年）では、営業利益率を戻すと決めている。その柱は **価格改定／段取りの短縮／事務の削減** の 3 つで、**いずれも「いまある仕事の利益率を上げる」手**である。

本事業は 4 本目の柱で、唯一「売上を増やす」手である。3 年目の売上 62,400 千円は、全社売上の 7.7%。他の柱だけでは届かない部分をここで取る。

6. 課題と、それをどう解くか

審査項目 3（事業性）に答える章。

6.1 数値目標

6.1.1 大口径の売上の積み上げ

図表 5 3 年目の売上の内訳



明細の合計 62,544 千円に対し、計画では 62,400 千円。端数を切り下げ、控えめな側に置いた。

資料: 当社作成 (打診 2 件は面談記録あり)

図表 6 売上の内訳 (3 年目・千円)

客先	品目	月産	単価	年間売上	根拠
A 社	半導体装置 ステージ板	12 個	142	20,448	2026-01 に打診あり。単価は見積提示済み
C 社	光学系 大口径ミラー基板	8 個	218	20,928	2026-03 に打診あり
新規 2 社	同種部品	14 個	126	21,168	県内の同業が 1 社しかいないため獲得できると見込む
合計	—	34 個	—	62,544	—

資料: 当社作成

7. 市場と競合

図表 7 市場の規模と動向

	内容	出所
市場の規模	半導体製造装置の国内生産額は 2025 年に 3 兆 9,200 億円	日本半導体製造装置協会 統計
動向	2026 年度の前年比見通し +8.4%	同協会 需要予測
当社が取る範囲	神奈川県内の大口径精密研磨。年 4~6 億円規模と推計	県内同業 3 社の公表売上から推計
顧客ニーズの検証	A 社・C 社の 2 社に直接聞き取り。「φ350mm まで対応できるなら出したい」との回答	面談記録 2026-01・03

資料: —

図表 8 競合との比較

	当社（本事業後）	県内 B 社	県外の大手
対応できる外径	φ450mm まで	φ600mm まで	φ1,000mm 超
面粗さ	Ra0.02μm	Ra0.05μm	Ra0.01μm
小ロット（月 10 個未満）	受ける	受けない	受けない
納期	14 営業日	21 営業日	30 営業日以上

資料: 公表情報および客先からの聞き取り

8. やり切れる根拠

審査項目 4（実現可能性）に答える章。

8.1 技術力

- ・大口径（φ200～280mm）の研磨で、面粗さ **Ra0.02μm** を 2 年間不良ゼロで出している
- ・新しい設備は**同じ加工の寸法違い**であり、まったく新しい技術ではない
- ・段取りと条件出しは、いまの担当が持っている技能がそのまま使える

8.2 体制

図表 9 本事業の体制

役割	誰が	何をするか
総括	代表	進捗の管理、金融機関・支援機関との窓口
技術	研磨の担当（58 歳）	条件出し。本事業の要
技術（2 人目）	C（入社 4 年）	育成中。設備の納入までに単独で回せるようにする
生産管理	生産管理 2 名	材料の手配、工程への割り付け
経理	経理	補助金の経理処理、実績報告

資料: 当社作成

8.3 資金

図表 10 資金の手当て

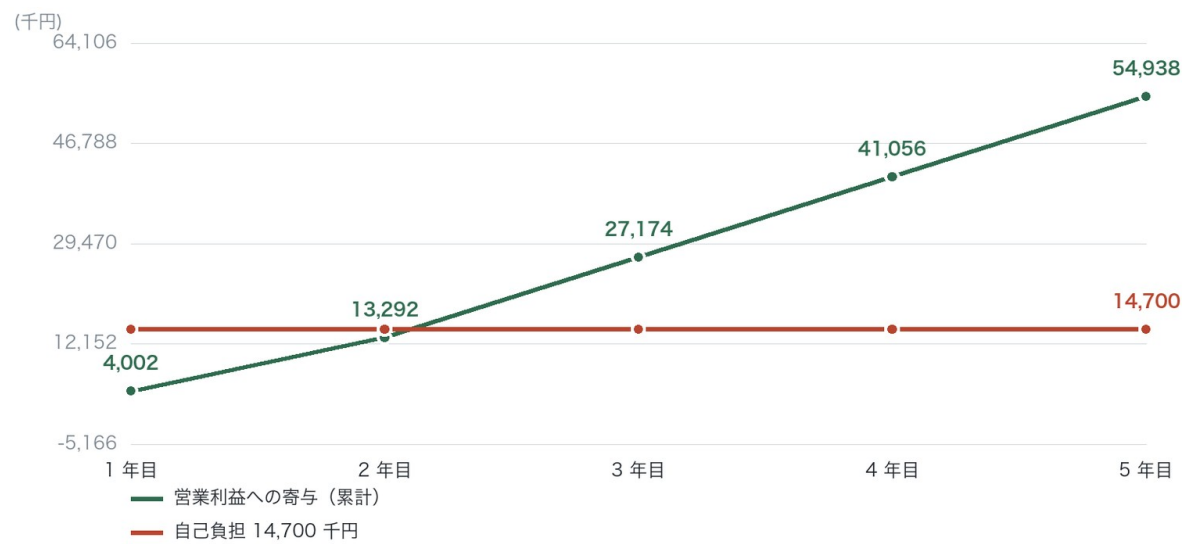
	金額（千円）	手当て
平面研磨機	24,800	最大 φ450mm・自動芯出し付き

	金額（千円）	手当て
据付・電源工事	2,400	市内の業者に発注
投資額 合計	27,200	—
補助金（補助率 50%・上限 12,500 千円）	▲12,500	後払い。いったん全額を立て替える
自己負担	14,700	自己資金 4,800 + 借入 10,000
借入	10,000	サンプル信用金庫に内諾を得ている（2026-04-17・面談記録あり）

資料: 見積書および金融機関との面談記録

9. 費用対効果

図表 11 投資の回収（累計の営業利益への寄与）



自己負担 14,700 千円は 3 年目（累計 27,174 千円）で回収する。補助金を含めた投資額 27,200 千円でも 4 年目で回収できる。

資料: 当社作成（粗利率 32%・償却 7 年定額）

図表 12 投資と回収（千円）

	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
大口径の売上	28,400	46,800	62,400	62,400	62,400
同 粗利（粗利率 32%）	9,088	14,976	19,968	19,968	19,968
減価償却費（7 年定額）	▲3,886	▲3,886	▲3,886	▲3,886	▲3,886
電力・消耗品の増加	▲1,200	▲1,800	▲2,200	▲2,200	▲2,200

	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目
営業利益への寄与	4,002	9,290	13,882	13,882	13,882
累計	4,002	13,292	27,174	41,056	54,938

資料: 当社作成

10. 地域への波及

- ・ 県内で $\phi 450\text{mm}$ の加工ができる事業者が増える。県外に出ていた加工を県内に戻せる
- ・ 客先はいずれも県内の事業者であり、輸送距離が短くなる
- ・ 設備の据付・電源工事は市内の業者に発注する（見積取得済み）

11. 大幅な賃上げの特例は申請しない

図表 13 特例の要件と当社

要件	基準	当社	判定
給与支給総額 年平均	+6% 以上	+2.5%	届かない
事業場内最低賃金	地域別 +50 円以上	+43 円	届かない

資料: 第 23 次公募要領の要件と当社の計画

届かない要件を申請して未達になると、補助金の返還が発生する。本計画では申請せず、要件を満たす範囲にとどめる。

12. 日程

図表 14 実施の日程

時期	やること	終わりの目印
2026-05-08	公募締切（電子申請）	受付番号の取得
2026-07 頃	採択発表	—
2026-08	交付申請 → 交付決定	交付決定通知
交付決定後ただちに	設備を発注（納期 6 か月）	注文請書
2027-02	据付・電源工事	—
2027-03	試運転・立ち上げ支援 5 日	検収

時期	やること	終わりの目印
2027-04	支払・実績報告	補助金の確定
2027～2031	事業化状況報告（年 1 回・5 年間）	—

資料: 当社作成

13. 支援者の申告

公募要領 3.3 の定めにより、外部の支援を受けた場合は名称・支援内容・報酬・契約期間を申告する。申告がないと、不採択・採択取消・補助金返還・公表の対象になる。

図表 15 本計画書の作成支援者

名称	（認定支援機関）サンプル税理士法人
支援内容	事業計画書の作成支援、数値計画の確認、電子申請の補助
報酬	着手金 100,000 円 / 成功報酬 補助金額の 8%（税別）
契約期間	2026-03-01 ～ 2027-04-30
名称	AI 活用推進担当
支援内容	現状の実測、技能マップの作成、資料の整理と文書化
報酬	月額 280,000 円（税別）。本件に対する追加報酬はない
契約期間	2026-01-01 ～（1 か月ごとの更新）

資料: —

14. 論点と未決

決まっていないことを、決まっていないと書きます。埋めてから出すと、決めた人が誰もいないまま進みます。

#	論点	選択肢	決める人	期限
1	不採択だった場合に、自己資金だけで導入するか	① 導入する（借入を増やす）／② 次回公募に再申請／③ 見送る	代表	2026-08
2	2 人目の研磨担当を誰にするか	組織と KPI の設計の論点と同じ。設備の納入までに決める	製造部長	2027-02

15. 次にやること

#	やること	誰が	いつまでに
1	見積 3 社を取り直し、仕様を確定する	製造部長	2026-04-30
2	電子申請システムに本文を入力する	AI 活用推進担当	2026-05-01
3	図表を A4 5 ページ以内の PDF にまとめる	AI 活用推進担当	2026-05-02
4	金融機関に借入の内諾を書面でもらう	代表	2026-05-08